

第4章 第2次健康増進計画・第2次食育推進計画の評価

第4章 第2次健康増進計画・第2次食育推進計画の評価

1 基本目標（数値）の達成状況

第2次健康増進計画においては、「健康寿命の延伸！」を基本目標とし、主観的健康感と健康寿命を目標値として設定していました。

健康だと感じる人の割合は第2次健康増進計画策定時の値よりも低下し、目標を達成していません。一方、健康寿命は、男性で0.09年延び、目標を達成しました。

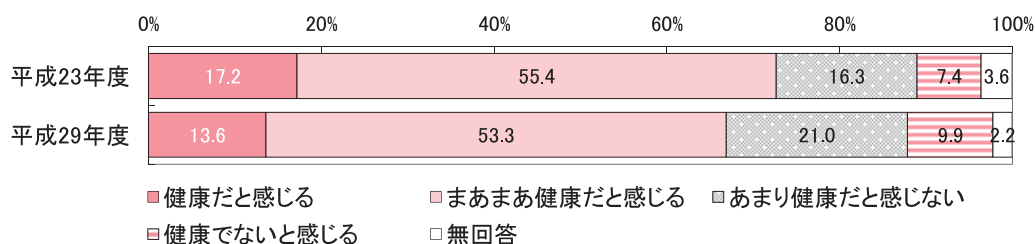
指標	第2次計画 策定時値	目標値 (平成29年度)	実績 (平成29年度)	達成状況	
				増減	評価
健康だと感じる人の割合 (健康に関するアンケート)	72.6%	80.0%	66.9%	-5.7ポイント	D
平均寿命	男性 79.37歳 (平成22年)	平均寿命 の増加分 を上回る 健康寿命 の増加	79.34歳 (平成25年)	-0.03歳	—
	女性 88.12歳 (平成22年)		87.57歳 (平成25年)	-0.55歳	—
健康寿命 (健康な期間の平均)	男性 77.82年 (平成22年)		77.91年 (平成25年)	+0.09年	A
	女性 84.72年 (平成22年)		84.17年 (平成25年)	-0.55年	D
不健康な期間の平均	男性 1.55年 (平成22年)	1.43年 (平成25年)	-0.12年	A	
	女性 3.40年 (平成22年)	3.40年 (平成25年)	0年	C	

※達成状況 A: 目標を達成した B: 目標を達成していないが改善傾向にある C: 変わらない
D: 改善がみられない

【健康に関するアンケート調査の結果について】

平成29年度に実施した健康に関するアンケート調査の抽出は、回答結果が本市の人口構成と同様となるように、回収率を考慮して抽出を行いました。そのため、前回調査(平成23年度)と比較する第4章では、前回調査の回答者の人口比に合わせて調整した値であり、第5章～第7章に掲載している調査結果と数値が異なります。

[健康状態(主観的健康感)]



2 分野別の取組と目標の達成状況

(1) 健康管理

取組

① 健康診査の受診率向上と保健指導の充実

- 国保特定健診・特定保健指導の無料化，総合集団健診の休日健診やレディース健診の実施により受診率の向上を図りました。
- 人間ドックの受診医療機関を拡大しました。
- 医療機関で治療中の人について，医療機関から検査データ等の情報提供を受けることにより，治療中の人の負担軽減と受診率の向上を図りました。
- 未受診者対策として，ソーシャルマーケティングの手法を活用し，効果的なリーフレットによる受診勧奨を行いました。
- 特定保健指導では，集団指導だけではなく，保健師による個別指導を行い，生活習慣改善のための支援を行いました。

② 生活習慣病予防および重症化予防の推進

- 糖尿病の重症化予防について，医療機関と連携した糖尿病連携パスを活用した事業を継続しました。
- 健診事後教室として，生活習慣病予防教室（ヘルスアップ教室）を開催しました。
- 国保特定健診の結果，医療機関受診が必要な人へ受診勧奨を行いました。
- 総合集団健診において，血清クレアチニン検査の追加，HbA1c検査の全員実施，推定尿中塩分摂取量の測定を実施しました。

③ がんの予防と検診受診率向上の取組強化

- がん検診において，子宮がん検診・乳がん検診の無料化，対象者へのクーポン券の交付，40歳のがん検診無料化により，受診率の向上を図りました。
- 乳がん検診について，三次きんさいスタジアムで行われたプロ野球公式戦において，ピンクリボンキャンペーンを実施し，乳がんの早期発見・早期治療についての啓発を行いました。また，総合集団健診会場で乳がんモデルの触診体験を行いました。
- がん予防講演会やがん検診推進員の養成講座を開催する等，がん検診の重要性の普及啓発を行い，家族や身近な人への声かけを行いました。

④ 認知症の早期発見と啓発の取組

- 認知症の予防について、鳥取大学との連携事業として、三次地区医師会等の関係機関と協力し、モデル地区での事業に取り組みました。
- 認知症の予防や早期発見の啓発として、出前講座やまつり等のイベントで物忘れ相談プログラムを活用しました。
- 関係機関と共通のリーフレットを作成し、一体的な啓発を行いました。

目標の達成状況

指標		第2次計画 策定時値	目標値	平成29年度 実績	達成状況		
					増減	評価	
国保特定健診の受診率	40～ 74歳	30.9%	60.0%	40.7% (平成28年度)	+9.8ポイント	B	
国保特定保健指導の 実施率	40～ 74歳	25.7%	45.0%	19.9% (平成28年度)	-5.8ポイント	D	
メタボリックシンドローム該 当者・予備群の割合	40～ 74歳	28.0%	20.9%以下	28.1% (平成28年度)	+0.1ポイント	C	
がん検診受診率	40歳 以上	胃がん 16.6%	40.0%	(平成 27年 度)	4.6% (14.8%)	-1.8ポイント	D
		肺がん 21.4%	40.0%		9.1% (29.5%)	+8.1ポイント	B
		大腸がん 21.3%	40.0%		10.2% (33.0%)	+11.7ポイント	B
		乳がん 26.1%	50.0%		13.2% (38.0%)	+11.9ポイント	B
	20歳 以上	子宮がん 32.9%	50.0%		15.9% (43.3%)	+10.4ポイント	B
自分の適正体重を 知っている人の割合 (健康に関するアンケート)	15歳 以上	69.3%	80.0%	75.2%	+5.9ポイント	B	
認知症が予防できると 知っている人の割合 (健康に関するアンケート)	15歳 以上	—	—	57.5%			

※達成状況 A: 目標を達成した B: 目標を達成していないが改善傾向にある C: 変わらない
D: 改善がみられない

※平成29年度健康に関するアンケートの結果は、前回調査の回答者の人口比に合わせて調整した値です。(p.27 参照)

【がん検診の受診率について】

平成27年度の受診率は、平成27年度から「地域保健・健康増進事業報告」の対象者数の考え方が変更になったことから、一定の対象者数による受診率の推移を見るために、平成23年度と同様の算定方法で算出した県独自集計による受診率を()内に掲載しています。

(2) 身体活動・運動

[みよし健康づくりマップ]

取組

① ウォーキング（運動）の推進

- 健康運動インストラクターによる、ウォーキングの啓発やノルディックウォーキングを推進しました。また、ノルディックポールを使った出前講座や貸し出しを行い、気軽にノルディックウォーキングが体験できるよう取り組みました。
- 運動習慣のきっかけづくりや仲間づくりを目的に、ウォーキングマップの作成や各地域でウォーキングに取り組みました。



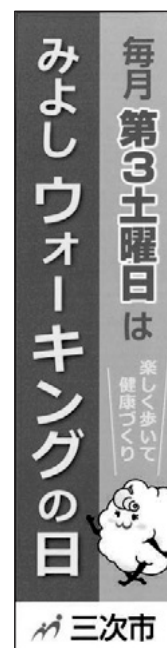
② 「動かしやすい身体づくり」の取組

- 子どもの時からの身体づくりについて、「みよし! 元気キッズ」、「やさしい元気の宝ばこ」のDVDを作成し、ケーブルテレビ放送等であそびをとおした身体づくりの啓発を行いました。
- トレーニング拠点施設の定期指導や高齢者トレーニング教室で、マシンを活用した事業を実施しました。
- 「介護予防ラジオ体操」を、「元気はつらつラジオ体操」に名称を変更し、介護予防だけではなく、各ライフステージへの啓発を行いました。
- ロコモティブシンドロームの概念について出前講座等で啓発を行いました。
- 小・中学校では、「みよし体操」を様々な教育活動の中で活用し、楽しく身体を動かす習慣づけの啓発を行いました。

[「みよしウォーキングの日」啓発のぼり旗]

③ 運動を行う環境づくりの推進

- 生活習慣病の予防を目的としたヘルスアップ教室やイベントで、体組成計を活用し、運動に取り組むきっかけづくりを行いました。
- 毎月第3土曜日を「みよしウォーキングの日」に制定し、ウォーキングコース（河川敷等）に距離表示や消費カロリー表示、案内看板の設置を行う等、ウォーキングしやすい環境づくりを推進しました。
- 健康づくりサポーターやウォーキングマイスターを養成し、主体的にウォーキングの企画や運営を行いました。



目標の達成状況

指標		第2次計画 策定時値	目標値	平成29年度 実績	達成状況	
					増減	評価
運動を習慣化している人の割合 (健康に関するアンケート)	15～64歳	30.9%	40.0%	32.1%	+1.2ポイント	C
	65歳以上	54.6%	65.0%	52.3%	-2.3ポイント	C
日常生活で身体を動かすことを心がけている人の割合 (健康に関するアンケート)	15～64歳	55.7%	65.0%	49.8%	-5.9ポイント	D
	65歳以上	69.9%	80.0%	69.9%	0ポイント	C
元気はつらつラジオ体操を知っている人の割合 (健康に関するアンケート)	15歳以上	26.0%	80.0%	44.5%	+18.5ポイント	B
元気はつらつラジオ体操を実施している人の割合 (健康に関するアンケート)	15歳以上	34.6%	45.0%	28.8%	-5.8ポイント	D

※達成状況 A: 目標を達成した B: 目標を達成していないが改善傾向にある C: 変わらない
D: 改善がみられない

※平成29年度健康に関するアンケートの結果は、前回調査の回答者の人口比に合わせて調整した値です。(p.27 参照)

[みわ町版バーチャルウォーキング]



(3) 栄養・食生活，食育

取組

① 生活習慣病予防につながる食育の推進

- 生活習慣病予防のため，望ましい食習慣を身につけることをめざし，ライフステージごとの体験型食育講座や出前講座に取り組みました。
- 高血圧予防のため，減塩講演会や減塩啓発パネル展の開催，出前講座，減塩みそ汁啓発等，減塩に重点をおいた取組を推進しました。
- 野菜摂取を推進する取組として，商業施設での食育イベントや食育講座（トレッタみよし野菜クッキング）の開催，「みよしふるさとランチの日」の充実を図る等，継続した取組を実施しました。また，野菜の歌 CD「やさいは元気の宝ばこ」を作成し，学校・保育所・幼稚園・商業施設や野菜販売所等で普及啓発を行いました。さらに，DVD を作成し，ケーブルテレビで定期的に放送しました。
- 広報紙に野菜レシピや減塩レシピを掲載しました。また，「ふるさとランチレシピ集」，「食推さんと作ろうあっちこっちクッキングレシピ集」を作成し，市民への啓発に活用しました。

[やさいは元気の宝ばこ]



② 子育て世代の食育実践力の向上

- パパママ教室で妊婦対象の講座や離乳食講座，地域子育て支援センターとの連携による幼児食に関する講座や，乳幼児健診等において栄養指導・相談に取り組みました。
- 保育所・幼稚園・地域等において，調理体験が手軽にできるように子ども用調理器具等の貸し出しを行いました。

[みよし版食育かるた]



③ 子どもたちがバランスのよい朝ごはんを食べる習慣の推進

- 食生活改善推進員の地域伝達において，「朝ごはん」をテーマとした講座を児童クラブ等と連携して全地域で実施しました。
- 保育所・幼稚園では保育計画，学校では食に関する指導の全体計画・年間指導計画に基づき実践し，家庭との連携を図りながら食育を進めました。

④ 食に関する環境整備と人材育成

- 三次市食生活改善推進協議会，三次商工会議所，三次市老人クラブ連合会，三次農業協同組合等との連携による事業に取り組みました。また，三次市飲食業組合と連携し，「飲食店版みよしふるさとランチの日」を実施しました。
- 食生活改善推進員の養成講座を開催し，新たに43名を養成しました。また，研修会を実施し，地域での活動が広がるよう支援しました。

⑤ 地産地消の推進

- 学校・保育所での「みよしふるさとランチの日」等の取組をとおして，三次産の農産物を食育の教材として活用し，地元食材への知識を深めるとともに，食物や食に関わる人々への感謝の気持ちを育みました。また，生産者と連携を図りながら活用率の向上に努めました。
- 飲食店に働きかけ，「地産地消の店」の認定に取り組みました。

目標の達成状況

指標		第2次計画 策定時値	目標値	平成29年度 実績	達成状況	
					増減	評価
1日3食欠かさず食べる人の割合(健康に関するアンケート)	15歳以上	83.8%	100%	83.0%	-0.8ポイント	C
毎食，野菜を食べる人の割合(健康に関するアンケート)	15歳以上	66.7%	90.0%	69.7%	+3.0ポイント	C
塩分の多い食品を控える人の割合(健康に関するアンケート)	15歳以上	54.7%	65.0%	53.6%	-1.1ポイント	C
油を多く使った食品を控える人の割合(健康に関するアンケート)	15歳以上	60.7%	70.0%	58.6%	-2.1ポイント	C

目標の達成状況（第2次三次市食育推進計画）

指標	第2次計画 策定時値	目標値	平成29年度 実績	達成状況		
				増減	評価	
朝食に「主食・主菜・副菜」 をとる割合 (食育・朝ごはんアンケート)	幼児	34.0%	60.0%	28.4%	-5.6ポイント	D
	小学生	52.8%	80.0%	47.2%	-5.6ポイント	D
	中学生	39.3%	80.0%	43.5%	+4.2ポイント	B
食育に関心をもっている人の割合 (食育アンケート)	95.2%	100%	94.7%	-0.5ポイント	C	
家族そろって夕食をとる人の割合 (食育アンケート)	59.2%	80.0%	56.1%	-3.1ポイント	C	
子どもと一緒に料理をつくる人の割合 (食育アンケート)	59.8%	80.0%	60.3%	+0.5ポイント	C	
「食事バランスガイド」の内容を知っている人の割合 (母子保健アンケート)	48.7%	70.0%	48.3%	-0.4ポイント	C	
学校給食における三次産農産物を使用する割合	36.0%	50.0%	25.5% (平成28年度)	-10.5ポイント	D	
子育て世代が「みよしふるさとランチの日」を知っている割合 (食育アンケート)	35.0%	70.0%	42.0%	+7.0ポイント	B	
「地産地消の店」認定店舗数	35店	60店	44店 (平成28年度)	+9店	B	

※達成状況 A: 目標を達成した B: 目標を達成していないが改善傾向にある C: 変わらない
D: 改善がみられない

※平成29年度健康に関するアンケートの結果は、前回調査の回答者の人口比に合わせて調整した値です。(p.27 参照)

(4) 歯と口腔の健康

[歯科健診等実施医療機関
啓発ステッカー]

取組

① ライフステージに応じた歯科保健対策の充実

- 妊婦歯科健診受診券を交付し、妊娠期からの歯と口の健康について啓発を行いました。
- 乳児健診，11か月児相談，1歳6か月児健診，2歳児相談，3歳児健診，子育て相談等において個別相談，集団指導等を実施し，歯と口の健康についての啓発を行いました。
- 総合集団健診において歯科健診を実施し，健診後の受診勧奨や個別指導により歯科保健行動の向上を図りました。また，三次市歯科医師会と連携し，節目年齢歯科健診として，30歳・35歳・40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・70歳の対象者へ歯科医療機関での個別健診を無料で実施しました。
- 生活習慣病予防教室（ヘルスアップ教室）や食育講座，出前講座等において歯と口の健康についての啓発を行いました。



② 8020運動の推進・強化

- 三次市歯科医師会，三次市歯科衛生連絡協議会等の関係機関と連携した事業を実施しました。
- 歯と口の健康週間（6月4日～10日）やいい歯の日（11月8日）に合わせ，パネル展の開催やケーブルテレビ放送等で啓発を行いました。

目標の達成状況

指標		第2次計画 策定時値	目標値	平成29年度 実績	達成状況	
					増減	評価
う歯のない3歳児の割合	3歳児	76.1%	85.0%	85.3% (平成28年度)	+9.2ポイント	A
歯みがきのとき，糸ようじ， 歯間ブラシを使用する人の 割合 (健康に関するアンケート)	15歳 以上	35.3%	50.0%	44.3%	+9.0ポイント	B
定期的に歯科健診を受け る人の割合 (健康に関するアンケート)	15歳 以上	25.4%	30.0%	33.8%	+8.4ポイント	A
12歳児における1人平均 う歯数	12歳児	0.8本	1.0本未満	0.7本	-0.1本	A
8020運動を知っている人 の割合 (健康に関するアンケート)	15歳 以上	49.3%	80.0%	60.0%	+10.7ポイント	B

※達成状況 A: 目標を達成した B: 目標を達成していないが改善傾向にある C: 変わらない
D: 改善がみられない

※平成29年度健康に関するアンケートの結果は，前回調査の回答者の人口比に合わせて調整した値です。(p.27 参照)

(5) 喫煙

取組

① タバコが健康に与える害の啓発・禁煙の推進

- 地域のイベントにおいて、呼気中の一酸化炭素濃度を測定し、喫煙が健康に及ぼす害の啓発を行いました。
- 世界禁煙デー（5月31日）に合わせ、三次地区医師会と連携し、パネル展や医師の相談会等の啓発イベントを開催しました。
- 備北地域保健対策協議会で、禁煙外来一覧（三次市内）を作成、配布し、啓発を行いました。
- 広島県がん対策推進条例に基づき、がん対策として受動喫煙防止の取組を実施しました。

② 未成年者・妊婦の喫煙防止対策の推進

- 母子健康手帳交付時や乳幼児健診時に、喫煙が健康に与える害についての啓発を行いました。
- 喫煙をしている妊婦やその家族へ、個別禁煙指導を実施しました。
- 小・中学校では、保健の時間に、喫煙が健康を損なう原因となることについて、病気を起こしやすくなることや有害物質が含まれていること等をあげて指導しました。また、低年齢からの喫煙は特に害が大きく、未成年の喫煙は法律によって禁止されていることについて指導しました。

③ 家族や人が集まる場所での禁煙・分煙の推進

- 「三次市受動喫煙防止対策ガイドライン」を作成し、受動喫煙防止に取り組み、市内公共施設の敷地内全面禁煙を推進しました。
- 受動喫煙防止啓発用ステッカーと敷地内禁煙ポスターを作成し、住民自治組織と連携し、公共施設の敷地内禁煙の実施について啓発を行いました。



目標の達成状況

指標	第2次計画 策定時値	目標値	平成29年度 実績	達成状況		
				増減	評価	
タバコが健康に与える影響について 知っている人の割合 (健康に関するアンケート)						
肺がん	15歳 以上	91.0%	95.0%	88.3%	-2.7ポイント	C
ぜん息・気管支炎		75.2%	80.0%	73.3%	-1.9ポイント	C
慢性閉塞性肺疾患 (COPD)		—	80.0%	—	—	—
妊婦・胎児への影響		68.8%	80.0%	69.5%	+0.7ポイント	C
心臓病		44.9%	80.0%	44.8%	-0.1ポイント	C
脳卒中		36.8%	80.0%	40.3%	+3.5ポイント	C
歯周病		28.6%	80.0%	34.3%	+5.7ポイント	B
胃かいよう		24.1%	80.0%	23.6%	-0.5ポイント	C
喫煙者のうち、禁煙に取り 組む意思のある人の割合 (健康に関するアンケート)	20歳 以上	52.2%	60.0%	46.1%	-6.1ポイント	C
市内公共施設の敷地内全面禁煙の 実施率	59.1%	100%	81.3%	+22.2ポイント	B	
妊婦の喫煙率	6.4%	0%	3.5%	-2.9ポイント	B	

※達成状況 A: 目標を達成した B: 目標を達成していないが改善傾向にある C: 変わらない
D: 改善がみられない

※平成29年度健康に関するアンケートの結果は、前回調査の回答者の人口比に合わせて調整した値
です。(p.27 参照)



(6) 飲酒

取組

① 飲酒と健康，適正飲酒に関する知識の普及

- アルコール依存症や適正飲酒に関する啓発の取組として，広報紙への関連記事の掲載，パネル展の開催，リーフレットの配布を行いました。
- アルコールカード「お酒と付き合うために増やそう休肝日！減らそう飲酒量！」を作成し，成人式やパネル展等で，普及啓発を行いました。

② 未成年者・妊婦の飲酒防止対策の推進

- 備北地域保健対策協議会の取組として，小学校低学年・中学年の児童とその保護者に対してパンフレットを作成し，配布を行いました。
- 未成年者に向けた飲酒防止パネルを作成し，啓発を行いました。
- 小・中学校では，保健の時間に，飲酒が健康を損なう原因となることについて，病気を起こしやすくなることやアルコールの作用で依存症になりやすいこと等をあげて指導しました。また，低年齢からの飲酒は特に害が大きく，未成年の飲酒は法律によって禁止されていることについて指導しました。
- 母子健康手帳交付時に，飲酒に関するアンケートを実施し，指導を行いました。

目標の達成状況

指標		第2次計画 策定時値	目標値	平成29年度 実績	達成状況	
					増減	評価
適度な飲酒を知っている人の割合 (健康に関するアンケート)	15歳以上	43.3%	80.0%	37.8%	-5.5ポイント	D
毎日飲酒する人の割合 (健康に関するアンケート)	20歳以上	44.0%	35.0%以下	45.6%	+1.6ポイント	C
多量飲酒(1日3合以上)者の割合 (健康に関するアンケート)	20歳以上	8.2%	6.0%以下	4.0%	-4.2ポイント	A
未成年の飲酒率 (健康に関するアンケート)	15～19歳	6.3%	0%	0%	-6.3ポイント	A

※達成状況 A: 目標を達成した B: 目標を達成していないが改善傾向にある C: 変わらない
D: 改善がみられない

※平成29年度健康に関するアンケートの結果は，前回調査の回答者の人口比に合わせて調整した値です。(p.27 参照)



(7) 地域の環境

取組

① 身近な地域で、「地域の絆」を深めながら取り組む健康づくりの展開

- 健康づくりを推進するボランティア等に健康情報を提供し、身近な人への声かけができるよう取り組みました。
- 住民自治組織や健康づくりに関する組織・団体・ボランティア等の多様な活動主体と連携し、健康づくりを推進しました。
- 元気づくり応援事業を実施し、市民の外出を促進するために、健康づくりを推進するボランティア等が地域で声かけを行いました。

② 地域の健康づくりを支える担い手の育成と連携

- 健康づくりサポーター、ウォーキングマイスター、食生活改善推進員、母子保健推進員と協働した活動を行いました。
- 健康づくりサポーターやウォーキングマイスターを中心に、ウォーキングの自主グループが立ち上がり、グループでの運動を継続しました。また、地域でウォーキングやストレッチ体操等の啓発を行いました。
- 県立広島大学との協働プロジェクトにおいて、健康づくりサポーターの活動意識の向上を図るため、体力測定を実施しました。

目標の達成状況

指標		第2次計画 策定時値	目標値	平成29年度 実績	達成状況	
					増減	評価
近所の人とお互いに助けあっていると思う人の割合 (健康に関するアンケート)	15歳以上	38.3%	65.0%	26.8%	-11.5ポイント	D
地域の中で楽しめる会や活動に参加している人の割合 (健康に関するアンケート)	15歳以上	20.7%	25.0%	16.6%	-4.1ポイント	D

※達成状況 A: 目標を達成した B: 目標を達成していないが改善傾向にある C: 変わらない
D: 改善がみられない

※平成29年度健康に関するアンケートの結果は、前回調査の回答者の人口比に合わせて調整した値です。(p.27 参照)